

今後の進め方

1. 全体の進め方（別添1）

- 「1. 設計条件及び評価判断基準」に当たる再処理施設及び廃棄物管理施設の入力地震動の策定を優先して説明。
- 上記と並行して、「2. 具体的な設備等の設計」（「2-1：システム設計、構造設計等」、「2-2：解析・評価等」）として整理すべき事項等の整理、具体的な構造設計等の説明を実施。MOX 燃料加工施設を例として、構造設計等として説明すべき内容等の説明方針、設備の構造等の類似性を踏まえた類型化及び代表による構造設計の説明等の整理を進め、再処理施設及び廃棄物管理施設へも展開。
- 「1. 設計条件及び評価判断基準」の入力地震動の策定に係る結果を踏まえ、設計用地震力（FRS等）、耐震計算等を行い、それらを「2-2：解析・評価等」の方針を踏まえた計算結果等の説明に当たる「3-2：評価判断基準等との照合」で引き渡し、説明を実施。（ここに至るまでの説明事項は、上記項目で対応）
- 共通12による「2. 具体的な設備等の設計」の整理結果を申請書の構成等を踏まえた00資料に反映し、申請書全体としての構成等の確認を行う。その後申請書への反映を実施。

2. 今後の審査会合での説明方針

- 1. を踏まえ至近での審査会合での説明の進め方としては、以下のとおり考えている。
 - 次回審査会合
 - ・1. 設計条件及び評価判断基準：
 - 「データの取得及び信頼性の確認」「データの整理（12Grでの整理）」「データの再整理（近接するGrのデータ類似性に基づく整理）」について、2/5 会合踏まえたコメント回答と見直し内容
 - 「敷地地盤の特徴をとらえた地下構造」の設定結果
 - 「設計に用いる地盤モデル（基本地盤モデル）の作成方針及び作成結果」
 - ・2. 具体的な設備等の設計（2-2：解析・評価等）：「MOX 説明グループ1（評価）」の説明
 - 次々回審査会合
 - ・1. 設計条件及び評価判断基準：「基本地盤モデルによる入力地震動の算定結果（一部）」
 - ・2. 具体的な設備等の設計（2-1：システム設計、構造設計等）：「再処理、廃棄物管理の説明グループ1（構造）」、（2-2：解析・評価等）：「MOX 説明グループ1（評価）」の説明
 - その後（準備整い次第）の審査会合
 - ・「基本地盤モデルによる入力地震動の算定結果」「基本地盤モデルの設計への適用の考え方」の説明
 - ・「再処理、廃棄物管理の説明グループ1（構造）」（外部衝撃関係）、「MOX 説明グループ2（構造）」（火災、外部衝撃関係）等に係る構造設計等の説明を順次実施

3. 各活動の実施状況及び当面の進め方

3. 1 具体的な設備等の設計（共通12）に係る進め方

- 「2. 今後の審査会合での説明方針」を達成するため、これまで「具体的な設備等の設計（共通12）」を作成する前準備として複数のタスクを進めてきたが、一定の整理が出来てきたことから再処理、廃棄物管理の説明グループ1に係る共通12の作成のフェーズに移行する。至近の対応が必要な事項の対応は以下のとおり。
- なお、説明グループ2以降の説明グループの設定に係る説明すべき項目の整理や説明グループ2に係る「設計項目」の整理等は継続して実施していく。

- 各説明グループに関連する条文等の説明対象に対する責任体制（グループ取り纏め、条文等の説明対応者）を明確にし、ヒアリングでの説明を行う等、ヒアリング体制の見直しを実施。
- 「**2. 具体的な設備等の設計（2-1：システム設計、構造設計等）**」
 - ◆ 再処理、廃棄物管理 説明グループ1（構造）に係る構造設計等の説明
 - ✓ DB/SA の設計項目の整理については、1/29, 2/2, 9, 16, 19 ヒアを踏まえた整理状況を 2/21 提出、2/22 ヒアで説明する。当該整理を他の基本設計方針項目にも展開し、順次作業を実施し、共通 12 の作成に繋げる。
 - ✓ 代表選定の考え方については、2/16, 19 ヒアを踏まえ代表設備・差分説明対象の選定の考え方、申請対象設備と説明すべき事項との関係を踏まえた代表、差分の説明設備のマトリクス（整理方針）を整理し、2/21 提出、2/22 ヒアで説明する。（別添 2 参照）
 - ✓ 共通 12 資料 3 については、昨年 12 月, 2/9, 21 ヒアを受け、資料 3 だけではなくその上流からの整理を含めるとともに、MOX での記載方針を踏まえ、作成ガイドの修正も含めた対応を行う。（方向性確認ヒア 2/28、代表例提出 3/4、ヒア 3/8）
 - ✓ 上記のヒアリング状況を踏まえ、次々回審査会合では、説明グループ 1 に係る構造設計等の代表例について説明し、次々回審査会合を踏まえ 3 月末に説明グループ 1 全体に係る構造設計等について提出し、説明を開始する。
 - ◆ 再処理、廃棄物管理 説明グループ2（構造）に係る構造設計等の説明
 - ✓ これまでのヒアリングを踏まえ、個別項目の具体的な設計方針とその考え方を整理し、3/7 資料提出、3/14 ヒアで説明を行う。
 - ✓ 本説明にあたっては、説明する個別項目を共通 12 資料 2 で示す設計項目に紐付け、共通 12 の資料 3 及び資料 4 で説明する内容を明確化して、共通 12 の作成に繋げる。
 - ✓ 共通 12 の再処理説明グループ 2 の DB/SA の要求事項の紐付けは、再処理説明グループ 1 の整理を踏まえ、溢水/化学薬品(12 条、13 条)と 36 条の整理を先行させ、3/7 資料提出、3/14 ヒアで説明を行う。
 - ✓ 代表選定の考え方(説明パターン毎の代表設定)、DB/SA の設計項目の整理等を踏まえ、説明グループ 2 に係る構造設計等を 3 月末目標で提出し、4 月よりヒアリングを開始する。
- 「**2. 具体的な設備等の設計（2-2：解析・評価等）**」
 - ◆ MOX 説明グループ 1（評価）に関連する共通 1 2 資料 4 の説明
 - ✓ 構造設計等を踏まえた解析・評価等に関する整理方針等を踏まえた MOX 説明グループ 1 に関連する解析・評価等の説明を行う。1/18, 19, 24 ヒアを踏まえて評価パターン（1）、（2）と評価パターン（3）を分けて資料提出、ヒアを設定することを計画。評価パターン（3）についてはグローブボックスに係る耐震設計に関するパートを優先して説明する。
 - ◇ 評価パターン（1）、（2）関係：2/15 提出、2/21 ヒア
 - ◇ 評価パターン（3）（グローブボックスに係るパート）2/19 提出 2/20 ヒア、2/21 提出、2/22 ヒア、共通 1 2 3/4 提出 3/7 ヒア、3/12 提出 3/15 ヒア)
 - ◇ 評価パターン（3）については、グローブボックスに係るパートから説明を行うこととし、次回審査会合に向けて、グローブボックスの設計コンセプト、耐震設計及び評価において着目すべき部位及びそれを踏まえた許容限界の関係等の評価の前提となる事項の説明を行う。次々回審査会合に向けてグローブボックスの解析条件、グローブボックスに接続される配管の影響等に係る事項の説明を行う。

- ✓ 上記において、再処理の「評価」に係る項目の抽出等を合わせて示す。

3. 2 耐震関係（入力地震動の策定）の進め方

- 「2. 今後の審査会合での説明方針」を達成するため、以下の項目についての検討を進める。
 - ① 「データの取得及び信頼性の確認」「データの整理（12Grでの整理）」「データの再整理（近接するGrのデータ類似性に基づく整理）」
 - ② 「敷地地盤の特徴をとらえた地下構造」
 - ③ 設計に用いる地盤モデル（基本地盤モデル）の作成方針及び結果
 - ④ 基本地盤モデルによる入力地震動の算定結果
 - ⑤ 基本地盤モデルの設計への適用の考え方

<資料提出・ヒアリング>

- 次回会合資料
 - ①について 2/5 会合踏まえたコメント回答と見直し内容 + ②・③検討結果
 - ◆ 2/16 資料提出 2/16 ヒア（AA 周辺・F 施設周辺・GA・AG グループ分）
 - ◆ 2/20 資料提出 2/20 ヒア（2/16 ヒアコメントの反映）
 - ◆ 2/21 資料提出 2/22 ヒア（全 Gr 分）
 - ◆ 2/26 資料提出 2/27 ヒア（2/21 ヒアコメントの反映）
- 次々回会合資料
 - ④について AA 周辺・F 施設周辺・GA・AG グループ分の結果
 - ◆ 3/8 資料提出（耐震建物 08 + 会合説明骨子案） 3/12 ヒア
 - ◆ 3/13 資料提出（会合資料案） 3/14 ヒア
 - ◆ 3/18 資料提出（会合資料案） 3/19 ヒア

以上

1. 設計条件及び評価判断基準

2. 具体的な設備等の設計

3. 具体的な設備等の設計と評価判断基準との照合

【2-1：システム設計、構造設計等】

【3-1：設計要求等との照合】

- 共通12の目的、共通12における具体的な設備等の設計に係る全体像等
- MOX説明グループ¹を例とした共通12各資料での記載事項の整理
- 設計説明分類・説明グループの設定、要求事項を踏まえた構造設計等と解析・評価等での説明事項の仕分け、DB/SAの共通事項の整理等（溢水、竜巻等）

共通12（資料1～3）、個別補足説明資料

00資料への反映（別紙1、別紙4、別紙5等）

【2-2：解析・評価等】

【3-2：評価判断基準等との照合】

申請書不備に係る原因、対策

申請書への反映

(2-2) 共通12（資料4）、計算（評価）方針等
(3-2) 計算書（評価書）、個別補足説明資料

00資料への反映（別紙1、別紙4、別紙5等）

※計算結果を反映

入力地震動の策定

- 敷地の特徴をとらえた地下構造の検討
- 基本地盤モデルの設定
- 入力地震動の策定

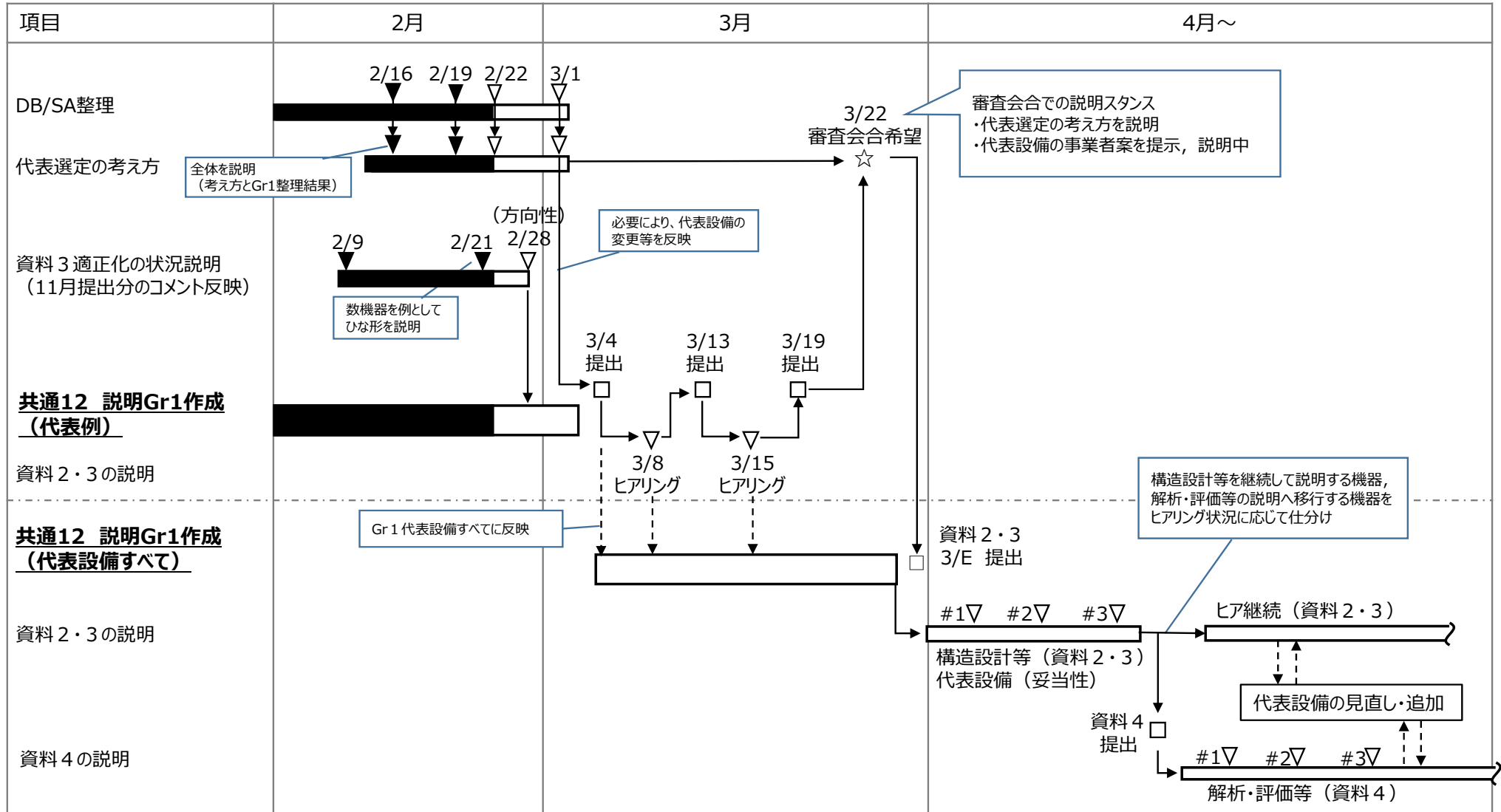
設計用地震力（FRS等）、耐震計算

- 入力地震動の設定結果を踏まえた設計用地震力（FRS等）の評価
- 設計用地震力に基づく建屋、機器等の耐震計算等の実施

共通12 説明Gr1の進め方

(2/4)

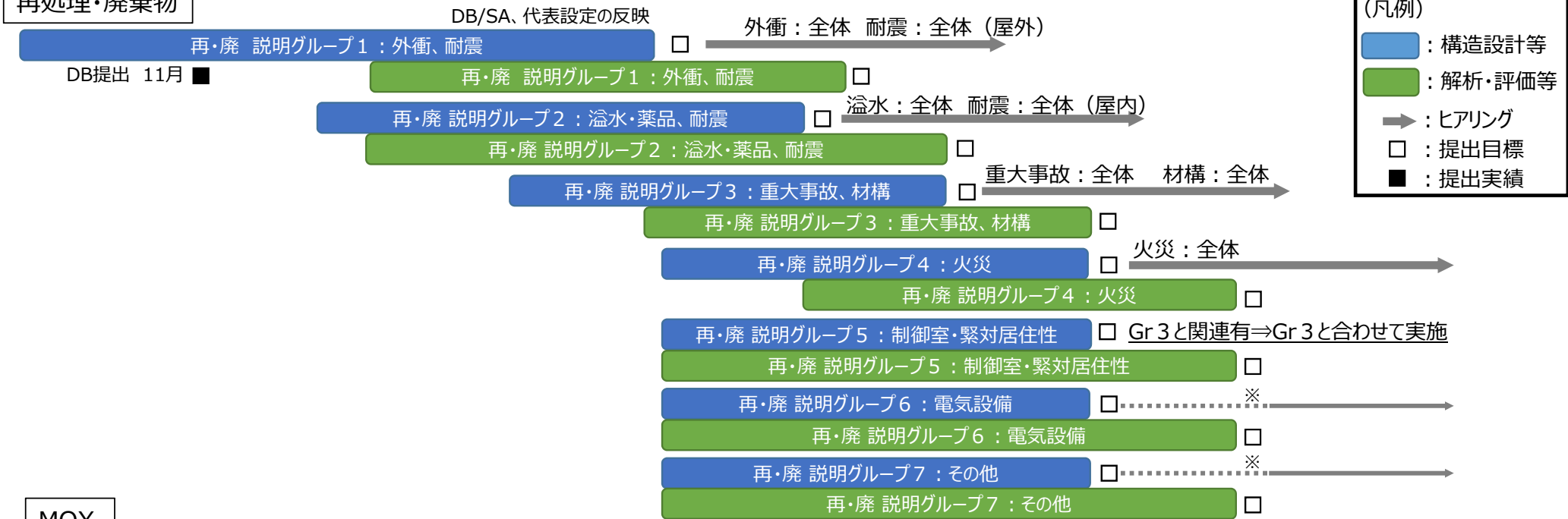
□ : 資料提出, ▽ : ヒアリング, ☆ : 審査会合



共通 1 2 の社内作成・審査の進め方

(3/4)

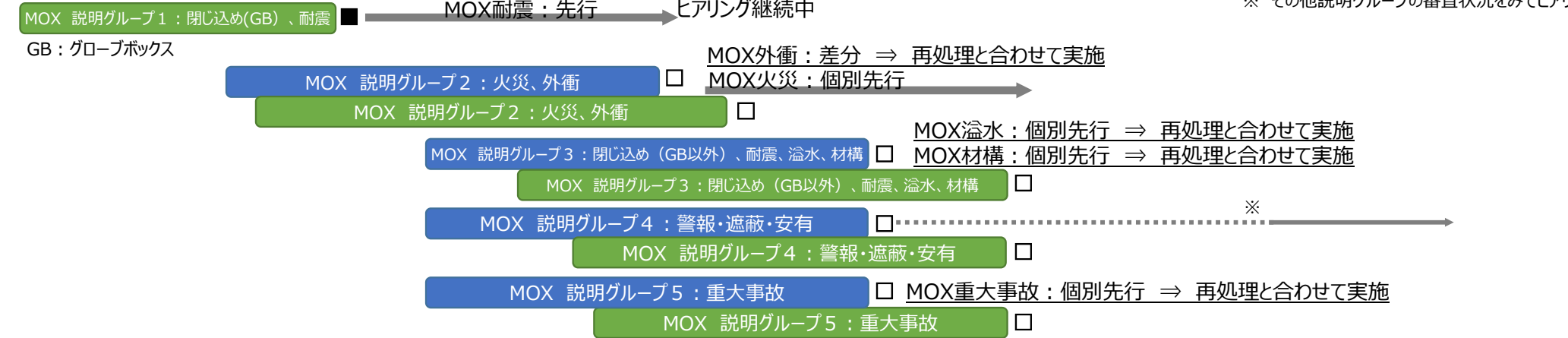
再処理・廃棄物



(凡例)

- : 構造設計等
- : 解析・評価等
- : ヒアリング
- : 提出目標
- : 提出実績

MOX



共通 1 2 再処理/廃棄物とMOXの連携項目について

○：基本的に説明すべき内容（共通事項含む）全体を説明 △：先行して固有事象を説明（関連する共通事項含む） *：基本的に再処理の全体説明で網羅し、差分のみ説明

(4/4)

連携項目	再処理の主な内容	MOXの主な内容	説明
外部衝撃	説明G r 1 ○全体 ・構造強度設計 ・降下火砕物の侵入防止、防護設計 ・耐火塗装の施工設計 ・離隔距離を確保する設計、分散配置等 ・直撃雷対策	*差分 説明G r 2 ・構造強度設計（換気設備の竜巻防護） ・降下火砕物の侵入防止、防護設計 ・避雷設計（排気筒）等	再処理にて先行し全体説明を実施。再処理に続き、MOXについては差分を説明する。
	説明G r 2 ○全体 ・溢水源、溢水量、防護区画、経路の設定 ・没水、被水、蒸気影響に対する設計 ・建屋内への流入防止設計等 ・スロッシングによる漏えい抑制	△個別・先行 説明G r 3 ・防護対象施設の機能喪失高さ、溢水における配慮が必要な高さ（グローブボックス）等	
耐震	説明G r 1、2 ○全体 ・建物、構築物（1.2Ss含む） ・機器、配管系（1.2Ss含む）等 ・屋外重要土木構造物（1.2Ss含む） ・B Cクラスの設計方針	△先行 説明G r 1、3 ・有限要素モデル：グローブボックス ・B Cクラスの設計方針等	耐震は、MOXのグローブボックスを先行して説明し、その後、再処理にて全体を含め説明を実施。
	説明G r 3 ○全体 ・健全性（環境条件、試験検査性、操作性、多様性、位置的分散他） ・関連する工程の停止等	△個別・先行 説明G r 5 ・健全性：換気設備の一部（DBと兼用）	
材構	説明G r 3 ○全体 ・耐食性等を考慮した材料 ・構造強度設計 ・設計条件における構造強度	△個別・先行 説明G r 3 ・構造強度設計	先行するMOXより個別説明を開始、その後、再処理にて全体を含め説明を実施
	説明G r 4 ○全体 ・火災感知、消火 ・火災及び爆発の発生防止、影響軽減 ・火災区域・区画	△個別・先行 説明G r 2 ・不燃材、難燃材の使用（グローブボックス） ・消火設備（グローブボックス） ・火災区域貫通部の延焼防止対策（防火シャッター） ・換気系のばい煙等の建屋内侵入防止	

青字は令和 6 年 2 月 1 9 日提出した「代表設備／差分設備の整理の考え方」資料からの変更箇所を示す。

代表設備／差分設備の整理の考え方

共通 1 2 資料 2 ～ 4 の各資料で代表（差分）設備を整理する。

- 各条文の基本設計方針及び設計説明分類の紐付整理（資料 2）
基本設計方針の要求事項を踏まえた説明すべき事項ごとに設計説明分類間の代表（差分）設備を整理
- 「システム設計、構造設計等」に係る説明（資料 3）
基本設計方針の要求事項を踏まえた説明すべき事項ごとに設計説明分類内具体的設備の代表（差分）設備を整理
- 「解析、評価等」に係る説明（資料 4）
解析、評価等の内容を踏まえた説明すべき事項（評価項目）ごとに具体的評価の代表（差分）設備を整理

共通 1 2 資料 2 ～ 4 の各資料で代表（差分）設備を整理する際の共通的な考え方及び資料ごとの特有の考え方を以下に示す。

【共通的な考え方】

- 説明すべき事項に適合するための設計（説明パターン）を網羅するように代表設備を整理。（説明すべき事項×設計（説明パターン）が母数となる。）
※説明パターン：耐震では耐震設計プロセスにおける各項目（解析モデル：質点系モデル・有限要素モデル、拘束条件：固定式・移動式等）での説明事項を考慮、竜巻では屋内の防護対象設備に対する防護設計における防護対象設備の配置、開口との関係、対策設備による対策の有無等の説明事項を考慮する等、資料 3 における構造設計等の説明や資料 4 における評価プロセス、評価条件等を考慮して整理する。
 - ✓ 対象となる設備等に共通的な設計の場合は、それぞれの施設のプロセスの特徴、設備の構造等の特徴を考慮して代表設備を整理。
 - ✓ システム設計として系統を説明する中から設備の設計（説明パターン）を説明する代表（差分）設備を整理。
- 説明すべき事項で対象となる設備が特定されている場合は当該設備を代表設備として整理（例：主排気筒、収納管、外部火災での離隔距離が最も小さい設備等）。

○合理的に代表を整理するため、1つの設備で複数の説明すべき事項を説明できるように代表（差分）設備を整理。

○代表設備とプロセス（機能）／改造内容／評価内容（評価プロセス、評価条件等）の観点で説明内容に違いがある設備は差分で設計（説明パターン）を説明する。

【資料ごとの特有の考え方（考慮事項含む）】

○資料4の代表（差分）設備を整理する際は、判定基準に対して評価の結果が厳しいものや評価条件の考慮事項が多いものなどから代表設備を整理する。

【その他（留意事項等）】

○評価内容の違いも考慮して代表（差分）設備を選定することから、資料4の評価の代表（差分）設備と資料3の具体の構造設計等の代表（差分）設備は同じになる。このため、資料4の段階で代表（差分）設備の追加が必要となった場合は、資料3にもフィードバックする。

○代表（差分）設備の整理にあたっては、再処理施設／廃棄物管理施設とMOX燃料加工施設（後次回含む）との関係も明確にした上で、先行して説明する施設の説明内容との差分の有無を整理する。

○上記考え方を踏まえて対象設備（設計説明分類）を縦軸に設計（説明パターン）を横軸として代表、差分の説明対象を整理する。各条文、事象の設計（説明パターン）に係る具体を別表（耐震設計プロセスの項目表等）として添付することとし、冒頭の整理表では大枠の項目を示す。差分の説明対象については差分として示す事項を表中に示す。

➡対象設備（設計説明分類）を縦軸に設計（説明パターン）を横軸として代表、差分の説明対象を整理するマトリクス表のイメージ（再処理、廃棄物管理 説明グループ1の例）を添付－1に示す。

なお、各条文、事象の設計（説明パターン）に係る具体の別表のイメージは別途示す。

以上

サンプル

【凡例】
 「○」、「●」：代表で説明する設備
 「△」、「▲」：差分で説明する設備
 (※：黒塗りの記号は評価を含む項目を示す。)
 (E施設)：廃棄物管理施設の設備

本文(代表(差分)選定パターン)
 ①対象となる設備等に共通的な設計の場合は、それぞれの施設のプロセスの特徴、設備の構造等の特徴を考慮して代表設備を整理。
 ②システム設計として系統を説明する中から設備の設計(説明パターン)を説明する代表(差分)設備を整理。
 ③説明すべき事項で対象となる設備が特定されている場合は当該設備を代表設備として整理(例：主排気筒、収納管、外部火災での離隔距離が最も小さい設備等)。
 ④合理的に代表を整理するため、1つの設備で複数の説明すべき事項を説明できるように代表(差分)設備を整理。
 ⑤代表設備とプロセス(機能)/改造内容/評価内容(評価プロセス、評価条件等)の観点で説明内容に違いがある設備は差分で設計(説明パターン)を説明する。

No.	設計説明分類	代表/差分説明対象設備	条文		第5/32条 地震 第6/33条 地震 第36条 重大事故										第7/34条 津波 第36条 重大事故		第8/36条 外部衝撃/重大事故		第8/36条 外部衝撃(電巻)/重大事故														
			説明すべき項目(要約版)		地下排水設備の設計(1.2Ss含む)		機器(定式化)(1.2Ss含む)		機器(FEM)(1.2Ss含む)		配管系(1.2Ss含む)		B,Cクラスの設計方針		可搬型設備(1.2Ss含む)		津波の影響を受けない位置への設置及び保管		外部衝撃に対する防護設計(屋内配置)		構造強度を確保する設計(建物・構築物)：電巻		構造強度を確保する設計(外気と繋がっている屋内機器)		構造強度を確保する設計(機器)：電巻		(構造強度を確保する設計(機器)：電巻)予備品による機能維持設計		固縛又は固定により構造強度を確保する設計(屋外可搬SA設備等)(悪影響防止の観点含む)		電巻防護対策設備の設計		
			設計(説明パターン)		建物：分離建物	構築物：主排気筒	地震時の相対変位により防護板同士が衝突しない設計：電巻防護対策設備	—	—	—	—	—	—	固縛(余長あり)	固縛(余長なし)	固定	—	—	電巻、火山、外部火災、航空機墜落、その他の各事象に対して耐性が確保された建屋内に収納することで防護する設計	電巻に対する開口等の影響の措置(建具に防護を期待する設計)	電巻に対する開口等の影響の措置(電巻防護対策設備に防護を期待する設計)	建物：分離建物	構築物：北換気筒	建屋換気設備(管理区域)	収納管	評価(定型式)を考慮(評価(FEM)を考慮)	評価(配管系)を考慮	波及影響(系統)を考慮	—	固縛(余長あり)	固縛(余長なし)	固定	—
			説明すべき項目(共通/特有)		共通	共通	共通	特有	共通	共通	共通	共通	共通	共通	共通	共通	共通	共通	共通	共通	共通	共通	共通	共通	共通	共通	共通	共通	共通	共通	共通	共通	共通
1	分離建物		●	●																													
2	緊急時対策建物																																
3	制御建物																																
4	精製建物																																
5	第1保管庫・貯蔵所																																
6	第1ガラス固化体貯蔵建物																																
7	使用済燃料輸送容器管理建物(使用済燃料収納使用済燃料輸送容器保管庫)																																
8	使用済燃料受入れ・貯蔵建物																																
9	主排気筒																																
10	北換気筒																																
11	地下水排水設備																																
12	屋内アクセスルート(分離建物)																																
13	屋外アクセスルート																																
14	冷却塔(安全冷却水A冷却塔)																																
15	配管(安全冷却水A冷却塔に接続する冷却水配管)																																
16	冷却塔(安全冷却水系冷却塔A)																																
17	冷却塔(安全冷却水系冷却塔B)																																
18	安全冷却水系(F用)																																
19	安全冷却水系(本体用)																																
20	非常用ディーゼル発電機(本体用)のベント管																																
21	建屋間伝送用無線装置(屋外アンテナ)																																
22	危険物貯蔵施設(水素)																																
23	危険物貯蔵施設(プロパン)																																
24	再処理施設の危険物貯蔵施設等																																
25	硝酸ドラジン受入れ貯槽、TBP受入れ貯槽及びヒドラン受入れ貯槽																																
26	給水処理設備(取水口)																																
27	大型移送ポンプ車																																
28	可搬型空気圧縮機																																
29	可搬型中型移送ポンプ																																
30	可搬型ホース																																
31	ホイールローダ																																
32	貯水槽																																
33	分離建物内の設備																																
34	開口等に対して建具(フード等)で守られる分離建物内の設備																																
35	開口等に対して電巻防護対策設備で守られる制御建物内の設備																																
36	収納管及び通風管(E施設)																																
37	貯蔵ピット(E施設)																																
38	建屋換気設備(管理区域)																																
39	建屋換気設備(非管理区域)																																
40	非常用ディーゼル発電機(本体用)																																
41	電気設備																																
42	受電開閉設備																																
43	固化セル圧力放出前置フィルタユニット																																
44	避難用照明(誘導灯及び非常灯)																																
45	計装設備																																
46	避雷設備(建屋間)																																
47	主排気筒ガスマニタ																																
48	接続口(突入口含む)																																
49	代替中央制御室送風機																																
50	飛来物防護ネット																																
51	飛来物防護板(鋼材)																																
52	飛来物防護板(RC)																																

(今後見直しが必要な事項)
 ・MOXが共通12資料4の耐震評価で示している評価内容を踏まえた代表選定(マトリクス表の整理)について、再処理/廃棄物管理においても同様に別途整理し、内容を反映する。
 ・別添2の本文で示す「再処理施設/廃棄物管理施設とMOX燃料加工施設(後次回含む)との関係」について、別途整理し、内容を反映する。
 ・別添2の本文で示す「各条文、事象の設計(説明パターン)に係る具体の別表」の整理結果を踏まえ、縦軸(代表/差分説明設備)、横軸(説明パターン)を見直す。

サンプル

No.	設計説明分類	代表/差分説明対象設備	第8/36条 外部衝撃(航空機)/重大事故				第8/36条 外部衝撃(落雷)/重大事故										凍結に対する防護設計					高温に対する防護設計					降水に対する防護設計(防水塗装等)			
			侵入防止設計	閉塞防止設計	試薬貯槽地下化	航空機落下に対する防護設計(分散配置)	落雷に対する防護設計(直撃雷対策)					落雷に対する防護設計(間接雷対策)																		
			フィルタ設置等	ばい煙が溜まらない設計	—	—	避雷設備設置(主排気筒)	主排気筒の保護範囲内に配置	避雷設備設置(収納する建屋)	避雷設備設置(収納する建屋)	新JIS:緊急時対策建屋	避雷設備設置(避雷防護対象施設を覆う金属製の構築物)	避雷設備設置(避雷設備の接地極の接続)	アナログ信号式の計測制御系統施設の雷サージの影響防止設計(保安器、アインレータ、ディストリビュータ(絶縁増幅器)の設置、シールドケーブルを使用し片端接地)	デジタル信号式の計測制御系統施設の雷サージの影響防止設計(継電器(リレー)の設置、シールドケーブルを使用し両端接地)	デジタル信号式の放射線監視設備の雷サージの影響防止設計(光伝送ケーブルの使用)	電気設備の雷サージの影響防止設計(雷インパルス絶縁耐力を有する交流遮断器又は変圧器の設置)	電気設備(ケーブル、ケーブルの物理的分離)	鉄筋コンクリート造	寒冷耐用性を有する材料の使用	給気加熱	保温材及びヒーターの設置	不凍液	鉄筋コンクリート造	耐熱性を有する材料を使用	冷却機能維持	外壁塗装及び屋上防水	雨が侵入し難く、侵入したとしても排水できる構造	塗装若しくは腐食し難い金属の使用	
共通代表	共通代表	特有代表	特有代表	特有代表	共通代表	共通代表	共通代表	差分代表	特有代表	共通代表	共通代表	共通代表	共通代表	共通代表	共通代表	共通代表	共通代表	共通代表	共通代表	共通代表	共通代表	共通代表	共通代表	共有代表	共有代表	共有代表	共有代表	共有代表		
1	建物・構築物	分離建屋	①②④	①④	③	③	③	①④	①④	①⑤	③	①④	①④	①④	①④	①④	①④	①④	①④	①②④	①②④	①②④	①④	①④	①④⑤	①④	①④	①④	①④	
2		緊急時対策建屋					○	○																						
3		制御建屋								△																				
4		精製建屋																												
5		第1保管庫・貯蔵所																												
6		第1ガラス固化体貯蔵建屋																												
7		使用済燃料輸送容器管理建屋(使用済燃料収納使用済燃料輸送容器保管庫)																												
8		使用済燃料受入れ・貯蔵建屋																												
9		主排気筒					○	○																						
10		北換気筒																												
11		地下水排水設備																												
12		屋内アクセスルート(分離建屋)																												
13		屋外アクセスルート																												
14	屋外機器・配管	冷却塔(安全冷却水A冷却塔)				○														○										
15		配管(安全冷却水A冷却塔に接続する冷却水配管)																												
16		冷却塔(安全冷却水系冷却塔A)																												
17		冷却塔(安全冷却水系冷却塔B)																												
18		安全冷却水系(F用)																												
19		安全冷却水系(本体用)																												
20		非常用ディーゼル発電機(本体用)のベント管																												
21		建屋間伝送用無線装置(屋外アンテナ)																												
22		危険物貯蔵施設(水素)																												
23		危険物貯蔵施設(プロパン)																												
24		再処理施設の危険物貯蔵施設等																												
25		硝酸ヒドラン受入れ貯槽、TBP受入れ貯槽及びヒドラン受入れ貯槽				○																								
26		給水処理設備(取水口)																												
27		大型移送ポンプ車																												
28		可搬型空気圧縮機																												
29		可搬型中型移送ポンプ																												
30		可搬型ホース																												
31		ホイールローダ																												
32		貯水槽																												
33		分離建屋内の設備																												
34		開口等に対して建具(フード等)で守られる分離建屋内の設備																												
35		開口等に対して電線防護対策設備で守られる制御建屋内の設備																												
36		収納管及び通風管(E施設)																												
37		貯蔵ピット(E施設)																												
38		建屋換気設備(管理区域)		○																										
39		建屋換気設備(非管理区域)																												
40	屋内機器・配管	非常用ディーゼル発電機(本体用)																												
41		電気設備																												
42		受電開閉設備																												
43		固化セル圧力放出前置フィルタユニット																												
44		避難用照明(誘導灯及び非常灯)																												
45		計装設備																												
46		避雷設備(建屋間)																												
47		主排気筒ガスモニタ																												
48		接続口(突入口含む)																												
49		代替中央制御室送風機																												
50	電線防護	飛来物防護ネット																												
51	塵対策	飛来物防護板(鋼材)																												
52	設備	飛来物防護板(RC)																												

設工認等週間スケジュール

参考

■ : 耐震 ■ : 共通・DB・SA ■ : 濃縮 ■ : その他の面談/ヒアリング ■ : 審査会合関係

		2月				
月日	19	20	21	22	23	
	月	火	水	木	金	
AM			10:00~ (再/廣/M) 共通12に関するヒアリング ・共通12 (再処理/廃棄物 説明グループ1 (構造) 資料3適正化状況 (コメント反映))	10:00~ (再/廣/M) 今後の進め方に関するヒアリング 【対面希望】 ・今後の進め方 (全体の進め方、代表選定の考え方等) 上記ヒアリングに続けて (再/廣/M) 審査会合資料ヒアリング 【対面希望】 ・設工認申請の対応状況について (審査会合資料) (地盤)	天皇誕生日	
PM	13:30~ (再/廣/M) 審査会合資料ヒアリング ・設工認申請の対応状況について (審査会合資料) (共通12) (再/廣/M) 今後の進め方に関するヒアリング ・代表選定の考え方 ・共通12 (再処理/廃棄物 説明グループ1 (構造) DB/SAに係る設計項目整理 (36条、8条 (電巻)))	13:30~ (再/廣/M) 審査会合資料ヒアリング 【対面希望】 ・設工認申請の対応状況について (審査会合資料) (GB耐震説明骨子) ・設工認申請の対応状況について (審査会合資料) (地盤)	13:30~ (再/廣/M) 共通12に関するヒアリング ・共通12本文、参考資料 ・共通12 (MOX 説明グループ1 (評価) のうち (評価パターン (1) (2)) 資料2、3 (搬送)、4 (再処理・廃棄物管理施設の評価項目の抽出結果含む) ・上記に係る個別補足説明資料 (閉込02、閉込03、搬送01、搬送02、搬送03、換気01、廃棄01、溢水43)	13:30~ (再/廣/M) 審査会合資料ヒアリング ・設工認申請の対応状況について (審査会合資料) (共通12) 上記ヒアリングに続けて (再/廣/M) 今後の進め方に関するヒアリング ・共通12 (再処理/廃棄物 説明グループ1 (構造) DB/SAに係る設計項目整理 (36条、8条 (電巻)))		
資料提出予定	・設工認申請の対応状況について (審査会合資料) (共通12) 【朝一】 ・代表選定の考え方【朝一】 ・共通12 (再処理/廃棄物 説明グループ1 (構造) DB/SAに係る設計項目整理 (36条、8条 (電巻))) 【朝一】 ・共通12 (再処理/廃棄物 説明グループ1 (構造) 資料3適正化状況 (コメント反映)) ・設工認申請の対応状況について (審査会合資料) (GB耐震説明骨子)	・設工認申請の対応状況について (審査会合資料) (地盤) 【朝一】	・設工認申請の対応状況について (審査会合資料) ・今後の進め方 (全体の進め方、代表選定の考え方等) ・共通12 (再処理/廃棄物 説明グループ1 (構造) DB/SAに係る設計項目整理 (36条、8条 (電巻)))			
		2月				
月日	26	27	28	29	3月	
	月	火	水	木	1 金	
AM		10:00~ (再/廣/M) 審査会合資料ヒアリング 【対面希望】 ・設工認申請の対応状況について (審査会合資料)	10:00~ (再/廣/M) 共通12に関するヒアリング ・共通12 (再処理/廃棄物 説明グループ1 (構造) 資料3適正化状況 (方向性確認))	審査会合希望	10:00~ (再/廣/M) 今後の進め方に関するヒアリング 【対面希望】 ・今後の進め方 (全体の進め方、代表選定の考え方等) ・共通12 (再処理/廃棄物 説明グループ1 (構造) DB/SAに係る設計項目整理 (36条、8条 (電巻)))	
PM					13:30~ 3Sに関する面談 ・3Sインターフェイスに係る検討の進め方	
資料提出予定	・設工認申請の対応状況について (審査会合資料)	・共通12 (再処理/廃棄物 説明グループ1 (構造) 資料3適正化状況 (方向性確認))	・設工認申請の対応状況について (審査会合資料) 【AM】 ・(別添) 共通12本文、参考資料【AM】 ・(別添) 共通12 (MOX 説明グループ1 (評価) (評価パターン (1) (2))) 資料2、3 (搬送)、4【AM】 ・3Sインターフェイスに係る検討の進め方	・今後の進め方 (全体の進め方、代表選定の考え方等) ・共通12 (再処理/廃棄物 説明グループ1 (構造) DB/SAに係る設計項目整理 (36条、8条 (電巻)))		
		3月				
月日	4	5	6	7	8	
	月	火	水	木	金	
AM					10:00~ (再/廣/M) 今後の進め方に関するヒアリング 【対面希望】 ・今後の進め方 (全体の進め方等)	
PM				13:30~ (再/廣/M) 共通12に関するヒアリング ・共通12本文、参考資料 ・共通12 (MOX 説明グループ1 (評価) のうち (評価パターン (3)) 資料2、3、4 (GB関係) ・上記に係る個別補足説明資料 (耐震機電14)	13:30~ (再/廣/M) 共通12に関するヒアリング ・共通12 (再処理/廃棄物 説明グループ1 (構造) 資料2、3 (代表例))	
資料提出予定	・共通12本文、参考資料 ・共通12 (MOX 説明グループ1 (評価) のうち (評価パターン (3)) 資料2、3、4 (GB関係) ・上記に係る個別補足説明資料 (耐震機電14) ・共通12 (再処理/廃棄物 説明グループ1 (構造) 資料2、3 (代表例))			・今後の進め方 (全体の進め方等) ・溢水及び化学薬品漏えいの防護に係る構造設計等の設計項目の整理 ・DB/SAの設計項目の整理方針 (36条、12条/13条 (溢水/化学薬品))	・設計プロセスの各段階における事業部門の差異および差異に対する考え方の整理状況、事業変更許可申請書記載事項の整理、保安規定変更認可申請に係る運用の整理等 ・耐震建物08 ・審査会合資料骨子案 (地盤)	

月日	3月				
	11 月	12 火	13 水	14 木	15 金
AM		10:00～ (再/廃) 入力地震動の策定に係るヒアリング 【対面希望】 ・耐震建物08 ・審査会合資料付子案(地盤)	10:00～ 設計プロセスの運用改善状況に関する面談 ・設計プロセスの各段階における事業部間の差異および差異に対する考え方の整理状況、事業変更許可申請書記載事項の整理、保安規定変更認可申請に係る運用の整理等	10:00～ (再/廃/M) 審査会合資料ヒアリング 【対面希望】 ・設工認申請の対応状況について(審査会合資料)	10:00～ (再/廃/M) 今後の進め方に関するヒアリング 【対面希望】 ・今後の進め方(全体の進め方等)
PM				13:30～ (再/廃/M) 共通12に関するヒアリング ・温水及び化学薬品漏えいの防護に係る構造設計等の設計項目の整理 ・DB/SAの設計項目の整理方針(36条, 12条/13条(温水/化学薬品))	13:30～ (再/廃/M) 共通12に関するヒアリング ・共通12本文、参考資料 ・共通12(MOX 説明グループ1(評価)のうち(評価パターン(3))資料2、3、4(GB関係) ・共通12(MOX 説明グループ1(評価)のうち(評価パターン(3))資料2、3、4(GB関係) ・上記に係る個別補足説明資料(耐震機電14) ・共通12(再処理/廃棄物 説明グループ1(構造))資料2、3(代表例)
資料提出予定		・共通12本文、参考資料 ・共通12(MOX 説明グループ1(評価)のうち(評価パターン(3))資料2、3、4(GB関係) ・上記に係る個別補足説明資料(耐震機電14)	・設工認申請の対応状況について(審査会合資料)(AM) ・共通12(再処理/廃棄物 説明グループ1(構造))資料2、3(代表例)	・今後の進め方(全体の進め方等)	
月日	3月				
	18 月	19 火	20 水	21 木	22 金
AM		10:00～ (再/廃/M) 審査会合資料ヒアリング 【対面希望】 ・設工認申請の対応状況について(審査会合資料)	春分の日		
PM				審査会合希望	
資料提出予定	・設工認申請の対応状況について(審査会合資料)	・共通12(再処理/廃棄物 説明グループ1(構造))資料2、3(代表例)		・設工認申請の対応状況について(審査会合資料) ・共通12本文、参考資料 ・(別添)共通12(MOX 説明グループ1(評価(評価パターン(3))資料2、3、4(GB関係)	
月日	3月				
	25 月	26 火	27 水	28 木	29 金
AM	10:00～ (再/廃/M) 今後の進め方に関するヒアリング 【対面希望】 ・今後の進め方(全体の進め方等)				10:00～ (再/廃/M) 今後の進め方に関するヒアリング 【対面希望】 ・今後の進め方(全体の進め方等)
PM					
資料提出予定	・今後の進め方(全体の進め方等)【朝一】			・今後の進め方(全体の進め方等)	